

# RV215Wのフェールオーバーとリカバリの設定

## 目的

フェールオーバーとリカバリは、RV215Wでインターネットへの常時接続を保証するために使用される強力な機能です。RV215WのイーサネットWAN接続が失われると、フェールオーバーが発生します。この時点で、3G接続がRV215Wにインターネットを引き継ぎ、提供します。回復は、RV215Wがイーサネット接続の使用に戻ったときに発生します。これらの機能を動作させるには、イーサネットWAN接続と3G WAN接続の両方を設定する必要があります。フェールオーバー機能を使用するには、[モバイルネットワーク]ページでモバイルネットワークの接続モードを自動に設定する必要があります。

この記事では、RV215Wのフェールオーバーおよび回復機能の設定方法について説明します。

## 該当するデバイス

- ・ RV215W

## [Software Version]

- ・1.1.0.5

## フェールオーバーとリカバリ

ステップ1: Web構成ユーティリティにログインし、[Networking] > [WAN] > [Failover & Recovery]を選択します。「フェールオーバーと回復」ページが開きます。

## Failover & Recovery

Failover to 3G WAN:  Enabled  Disabled

Recovery back to Ethernet WAN:  Enabled  Disabled

---

Failover Check Interval:  Seconds (Range: 10 - 1440, Default: 10)

Recovery Check Interval:  Seconds (Range: 60 - 1440, Default: 60)

Switch back to Ethernet immediately when Ethernet is available.

Switch back to Ethernet in a specific time range.

Start time:  Hours  Minutes

End time:  Hours  Minutes

Connection Validation Site:  Gateway

Custom IPv4  .  .  .

---

WAN Interface	
Interface	Status
Ethernet	<a href="#">Disconnected</a>
USB	<a href="#">Disconnected</a>

ステップ2:[Failover to 3G WAN]フィールドの[Enabled]オプションボタンをクリックして、フェールオーバー機能を有効にします。フェールオーバーは、イーサネットWAN接続に障害が発生し、3G WAN接続が引き継ぐたびに発生します。

ステップ3:[Recovery back to Ethernet WAN]フィールドの[Enabled]オプションボタンをクリックして、リカバリ機能を有効にします。回復は、イーサネットWAN接続がフェールオーバー後に接続を再開するたびに行われます。

ステップ4:[Failover Check Interval]フィールドに、RV215Wがフェールオーバーをチェックする時間間隔を入力します。

ステップ5:[Recovery Check Interval]フィールドに、RV215Wがリカバリをチェックする時間間隔を入力します。

ステップ6：目的の回復時間に対応するオプションボタンをクリックします。

ステップ7：前のステップで2番目のオプションボタンをクリックした場合、RV215Wをイーサネット接続に戻すことができる開始時刻と終了時刻を入力します。

ステップ8:[Connection Validation Site]フィールドで、目的の検証サイトに対応するオプションボタンをクリックします。このサイトは、フェールオーバーまたは回復後にインターネット

ット接続が再確立されたかどうかを検証します。

- ・ ゲートウェイ：検証サイトとしてデフォルトゲートウェイが使用されます。
- ・ Custom IPv4：検証サイトとして使用するIPアドレスを入力します。

ステップ9:[Save]をクリックします。